

尚徳寮

平成30年11月30日

鳥取大学附属中学校

No. 9

1年生～キャリア・メッセージ2018～

1年生が11月8日(木)「キャリアメッセージ2018」を開催しました。これは、社会人・職業人による体験談や専門的講話を聞くことを通して、働くことの意義や自分の生き方について考え、目的意識をもって学校生活を送っていく意欲を高めることをねらいとしています。

この取り組みの特徴は、教育懇話会役員の方が、附中生に聞かせたい講師のリストを作成し、役員自ら講師に依頼する点です。本年度は8名の様々な職業の方においでいただきお話を聞いたり、質問したりしました。当日は代表を中心に、生徒が運営を行い、懇話会役員の方にも各講座に1人ずつ付いていただきました。感想をいくつか紹介します。

講師 谷口麻有子さん、中畑太一さん
「弁護士という仕事」

講師 太田匡彦さん 「みなさんに伝えたいこと
～医師の仕事と私の経験から～」

私が驚いたのは3人の方ともずっと夢があり、それを叶えたのではなく、高校生、大学生になって何となくなったということです。(略)高校生や大学生になってから自分自身について分かってからでも(夢を持つことは)遅くないなと話を聞いて思いました。

今の段階での将来の夢は、お金だけではなく、別のすてきなものが得られる仕事です。例えば、責任やプレッシャーで大変でも、成功したときの達成感・喜びを感じられる職業につきたいと思っています。日々の生活でも将来への階段をていねいに1段ずつ上がっていきたいです。

講師 辻中孝彦さん

「未来に生きる君たちへ」

今回はキャリア学習の中心となる、「将来の夢」について話して下さりました。「あの人よりは良い大学へ」「あの家よりは良い生活を」などと他人と比べることで幸せになれない、ということも教えて下さりました。

確かに人を幸せにすること、自分が心からやりたいと思えることができたなら、それが本当に自分が幸せになれることではないかなあなどと思いました。



講師 吉田智さん

「ドローンの可能性」

ドローンについての貴重な話をして下さいありがとうございました。まだ、将来のことを具体的に考えられていない私にとって、多くのことを学ぶことができました。

特に10年前から始まったドローンの研究が(当初は)バカにされていたことや、実際にドローンを動かしてみたことが印象に残っています。今後、

「自分の考え」を大切に
し、中学校生活を送りたいと思います。



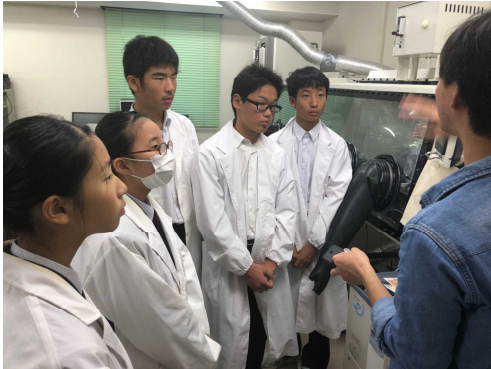
講師 大谷祐輝さん

「仕事(養蜂業)を通して学んだこと」

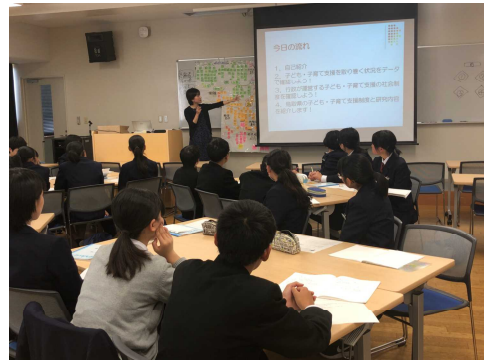
特に、気が合わない人とでも一緒に何かをしないといけないというお話が印象に残っています。仕事を知る上で、やりがいや楽しいところはもちろんですが、大変なことにも触れられていて、リアルに仕事を感じることができました。高齢化の問題もそうです。36歳以下で養蜂業を鳥取でしている人が3人しかいないという話には驚きました。日本の農業の高齢化は教科書の中だけの話のように感じていたからです。仕事について考えを深められるとても良い時間になりました。

2年生～学問体験「知の冒険」

キャリア教育の一環として、2年生を対象に、学問体験「知の冒険」を、1年生のキャリアメッセージと同じ11月8日(木)に行いました。これは、附属中学校が大学キャンパスに隣接しており、各学部等と迅速な意思疎通が可能である利点を活かし、大学の先生方や施設等を活用した「知への探究心を培う教育」を行うために平成22年度から継続しています。大学の研究室等において講義を受講することで、生徒の知ることへの興味や関心を育て、高等教育への見通しをもたせることもねらいとしています。当日は、生徒が選択した午前の15講座、午後の7講座(地域学部6、農学部3、工学部13)に分かれ、講義を聴いたり、実験をしたりしました。以下に、感想をいくつか紹介します。



「工学部 手作りキャパシタで電気を蓄えよう」



「地域学部 子どもと社会制度」

○それぞれの分野の専門家である大学の先生にお話を聞くことができ、とても深く分かったし、自分の世界も広がりました。学食もおいしかったです。

○中学からいきなり大学に行き、分からないこともたくさんあったけれども、卒業研究や今後の生活に繋ぐことができる大きな材料になったと思います。

○大学の雰囲気味わえてとても楽しかった。2つの授業ともとても専門的な分野の話だったけれど、おもしろかったし、貴重な体験をさせていただきました。

○工学部では、自分で実際に結果を考えてみるのがおもしろかったです。地域学部では、写真で見て分かりやすかったし、楽しかったです。今後の生活に活かしていきたいです。もし機会があったら参考文献の本などを読んでみたいです。

○普段できないような大学生活が体験できたので楽しかったです。中学校で取り扱わないような内容の講義を受け、自分の知らない世界に足を踏み入れたことで物事の見方を変えるきっかけになりました。

○講座の内容は今までやったことがなかったけれど興味があったのでとても楽しめました。

「子どもと社会制度」は身近なようであまり関わることがないかなと思っていましたが、私にも関係ある内容でとても良い話でした。

○私たちは14歳で、もう4年もしたら選挙権を持つことになります。そこでいろいろな投票の方法を知りました。今はまだ早いと思っていてもいずれは大切になってくることなので、意図的に投票して一部の人たちだけに望ましい結果になるのはいけないことだと思うので、そういうところはしっかり頭に入れていきたいです。

○今回牛を直接見る事ができ、良い経験になりました。西村先生は牛の繁殖を手助けしておられることを知りました。現在農家の方が減り、子牛の値段が高くなってきているので、とても大切な仕事だと思いました。そして先生が言っておられた『未来に繋げる』ということが印象に残っていて何事も先のことを考え、未来に繋げていかないといけないと感じました。

